

地方独立行政法人新小山市市民病院

平成27事業年度の業務実績に関する評価結果

総合評価

平成28年8月

地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会

目 次

年度評価の方法

I 全体評価

II 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

第3 財務内容の改善に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

第4 その他業務運営に関する重要事項

(1) 評価結果と判断理由

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

III その他 全体的な意見

年度評価の方法

地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定に基づき、平成25年4月1日に設立された地方独立行政法人新小山市市民病院（以下「法人」という。）の平成27事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

評価を行うにあたっては、「地方独立行政法人新小山市市民病院に対する評価の基本方針」並びに「地方独立行政法人新小山市市民病院の年度評価実施要領」（※いずれも平成25年10月2日評価委員会にて決定）に基づき、「項目別評価（小項目評価・大項目評価）」と「全体評価」により評価した。

具体的には、「項目別評価」では、年度計画に定めた事項ごとに法人による自己評価をもとに、ヒアリング等を通じて、自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた進捗状況を確認した。また、「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえつつ、法人化を契機とした病院改革の取り組みなども考慮しながら、中期計画等の進捗状況について総合的な評価を行った。

I 全体評価

平成27事業年度の業務実績については、4つの大項目評価である「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」「第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」「第3 財務内容の改善に関する事項」「第4 その他業務運営に関する重要事項」がすべて、B評価（計画どおり進んでいる）であった。

急性期病院であり地域の中核病院として、脳卒中センターや患者支援センターの開設を始めとする新規の取り組みや地域医療連携を強化したことから、紹介率76.6%、逆紹介率83.5%と計画を大いに上回る結果であったこと、また、断らない救急医療を目指し、救急バックアップ体制整備等に力を入れてきた結果、入院患者数、外来患者数等を増加させ、医業収益は過去最高の約64億7,800万円という、計画より10%を上回る結果は大変評価できる。

これらのことが要因となり、新病院建設という大変厳しい年であっても、地方独立行政法人制度の特徴である機動性や柔軟性を最大限に発揮し、理事長を筆頭に職員が一丸となって、収益の確保と費用の節減に取り組んだ結果、約4,200万円の黒字経営という安定した経営基盤が構築されている。

更に、新病院開院という大プロジェクトを推進する中、「地域医療支援病院」の承認と「日本医療機能評価機構」の病院機能評価の受審に臨み、それぞれ認定を受けたことが、法人の公共性及び経済性を両立させた健全な経営につながったと大いに評価できる。

以上のことから、平成27事業年度の業務実績としての全体評価は、中期目標・中期計画の達成に向けてすべて計画どおり進んでいると評価をした。

II 大項目評価

【大項目の評価方法】

大項目評価は、小項目評価結果、各重点項目の達成状況並びに特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

- S … 特筆すべき進捗状況にある（4.5以上5.0以下）
- A … 計画を上回って進んでいる（3.5以上4.4以下）
- B … 計画どおり進んでいる（2.5以上3.4以下）
- C … やや遅れている（1.5以上2.4以下）
- D … 重大な改善事項がある（1.0以上1.4以下）

各段階の評価は、大項目ごとの小項目評価の評点の平均点（少数点以下第2位四捨五入）で区分する。

評価結果

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.29であり、また、以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」に関する大項目評価は、**B評価（計画通り進んでいる）**が妥当と判断した。

※法人自己評価を評価委員会において変更した小項目については、以下の3点であった。

- ① 1－（3）4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）への対応
法人評価3を4とした。
- ② 5－（1）医療安全対策等の徹底 法人評価3を4とした。
- ③ 5－（2）外部評価の活用 法人評価3を4とした。

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

①急性期病院としての機能の充実 [1－（1）]

病院機能評価の受審を旧病院で行い承認されたことが大いに評価できる。

②救急医療の取組み [1－（2）]

「断らない救急」を目標とし、救急搬送受入れ患者は計画を上回り、入院患者数の増加につながっている。二次医療機関としての役割が順調であると評価できる。

③4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）への対応 [1－（3）]

心疾患や脳卒中においては、実績を上げていることと脳卒中ホットラインが整備され、順調に進んでいることが評価できる。

④小児・周産期医療の充実 [1 - (4)]

小児医療については、一定の評価ができるが、産科が未だ未整備であるため、引き続き、産科再開に向け医師確保に努めていただきたい。

⑤災害時等における対応 [1 - (5)]

災害拠点病院を目指し、D-MAT体制整備等機能強化に期待する。

⑥健診機能の充実 [1 - (6)]

一定の成果を上げているが、一般健診、特定・生活機能健診、脳ドックが計画値以下である。目標指数に届かない要因は、病院移転などがあったためと思われるが、一層の努力が必要である。

⑦保健・介護・福祉との連携 [1 - (7)]

市民への健康づくりの啓発として、予防医学を中心とした講演会など積極的に開催しており評価できる。

⑧優秀な医療スタッフの確保 [2 - (1)]

困難とされる医師確保は、計画を上回る結果となり評価できる。

なお、看護師については若干目標を下回っており、引き続き看護師確保に努めていただきたい。

⑨医療職等の専門性・医療技術の向上 [2 - (2)]

認定医の数については計画を大幅に下回っており、引き続き努力していただきたい。

⑩患者中心の医療 [3 - (1)]

医療技術に対し患者の過大な期待があるため、職員の丁寧な説明が更に必要である。

⑪利便性及び快適性の向上 [3 - (2)]

新病院となり、快適性は向上されたと評価できるが、利便性については利用者が慣れるまで大変である。今後は、ソフト面でどれだけ質が担保できるかが課題となる。

⑫ボランティア制度の活用 [3 - (5)]

園芸ボランティアが増えたことで、全体のボランティア数は昨年度より大幅増加となり評価できる。今後の活用に期待する。

⑬地域医療機関との連携 [4 - (1)]

年度計画以上の紹介率・逆紹介率の結果から、27年5月に地域医療支援病院として県から認定されたということは、さらに信頼できる病院となってきたということで評価できる。病診間の連携の充実も図られてきている。

⑭地域医療への貢献 [4 - (2)]

病院機能評価受審準備や新病院移転等があり、計画を大幅に下回っており、今後、積極的な地域医療貢献活動を期待したい。

⑮医療安全対策等の徹底 [5 - (1)]

インシデント・アクシデントの届出がうまく行われていると評価できる。

また、旧病院において病院機能評価を受け、感染症のA評価は、医療安全対策の徹底ということで、大いに評価できる。

⑯外部評価の活用 [5 - (2)]

病院機能評価を受けるにあたり、病院内で横断的な取組みと大変な苦労があったと推測する。新病院移転という年に、外部評価を受審し認定を受けたことに対して大変評価できる。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]
	小項目数	計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 医療サービスの向上	7		2	5		
2 医療提供体制の整備	2			2		
3 患者・住民サービスの向上	5		1	4		
4 地域医療連携の強化	3		1	2		
5 信頼性の確保	4		2	2		
合計	21		6	15		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する大項目評価は、B評価（計画通り進んでいる）が妥当と判断した。

※法人自己評価と評価委員会評価はすべて同じ評価だった。

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

①事務経営部門の強化 [1 - (2)]

診療情報管理士、医師事務作業補助者の採用に努め、再雇用の考え方の見直しを開始する等、事務部門の更なる充実を図られた点が評価でき今後も期待したい。

②意欲を引き出す人事給与制度の構築 [2 - (1)]

微妙な医師の人事評価や一般職員の精度の高い評価に期待したい。

③職員満足度の向上 [2 - (2)]

看護協会で実施している「ワークライフバランス」を受けることで、職員満足度が出てくる。28年度は個人評価が出来るよう期待する。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]
	小項目数	計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 業務運営体制の構築	3			3		
2 魅力ある病院づくり	3			3		
合計	6			6		

第3 財務内容の改善に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.33であり、また以下のことを考慮し、「財務内容の改善に関する事項」に関する大項目評価は、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

※法人自己評価と評価委員会評価はすべて同じ評価だった。

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

①経営基盤の強化 [1]

新病院開院により、膨大な設備投資に対する起債償還、維持管理費等固定資産に対する資金負担等の経営上の大きな負担があったが、危機感を持ち積極的な戦略を講じており、3年連続の黒字経営は大変評価できる。

②収益の確保 [2 - (1)]

入院診療単価、外来診療単価は前年度実績を大きく上回り、収益をしっかりと確保できたことは大いに評価できる。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価	[5] 計画を大幅に上回って実施している	[4] 計画を上回って実施している	[3] 計画を順調に実施している	[2] 計画を十分に実施できていない	[1] 計画を大幅に下回っている
	小項目数					
1 経営基盤の強化	1			1		
2 収益の確保と費用の節減	2		1	1		
合計	3		1	2		

第4 その他業務運営に関する重要事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価は、B評価（計画通り進んでいる）が妥当と判断した。

※法人自己評価と評価委員会評価は同じ評価だった。

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

①新病院建設に向けた取組み

順調に進められたことは、事務部門の努力を大変評価したい。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価	[5] 計画を大幅に上回って実施している	[4] 計画を上回って実施している	[3] 計画を順調に実施している	[2] 計画を十分に実施できていない	[1] 計画を大幅に下回っている
	小項目数					
新病院建設に向けた取組み	1			1		
合計	1			1		

Ⅲ その他 全体的な意見

27年度については、本当に目覚しく進んでこられたと推測でき、ここまでの実績が出せたことは、理事長はじめ全職員の努力であったと評価する。

今後、地域医療拠点病院として、どれだけ地域医療に貢献できるのか、地域包括ケアシステム構築を視野に外部関係機関との連携をどう進めるか、また、患者の入院から退

院後までの継続ケアをどのようなシステムとして外部と連携できるか、更に質の確保を継続的に行うため、院内職員の協働と質の醸成が問われると思われる。

利用者にとっていかに安心できる医療を提供できるのかを考えて次年度も頑張りたい。